

⑥人と環境にやさしいまちづくり

令和7年度予算額：7,783万4千円

(会計別予算案 P13, 14)

(1)『はなれていても つながる スマート市役所』の推進

「はなれていても つながる スマート市役所」を推進し、更なる市民の利便性向上を図ります。

※県内初の取り組み事業

新規

1 (1) 複数の事業で活用可能なメタバース市役所「メタまーつ」の構築・導入
(2) デジタル住民ポータルサービス「デジまっつ」の導入実証を開始

予算額
2,830万円

- (1)メタバース技術を活用したもう一つの仮想空間上の市役所「メタまーつ」を構築・導入し、市民との新たな接点・つながりを創出します。また、複数の行政サービスを「いつでも・どこでも」利用可能にしていきます。
- (2)スマートフォン等で「松戸市民一人ひとり」に合わせたオンラインサービスや情報を提供する市独自の市民ポータルサイト「デジまっつ」の実証を開始します。ポータルサイトからオンライン申請システムやメタバース市役所などの各デジタルサービスが利用できることにより、最終的には市民の手続きや相談がデジタル上で完結していくことを目指します。

新規

2 庁内手続き案内システムを導入

予算額 528万円

窓口の他、オンライン申請、マイナポータル、コンビニ交付、郵送など、多様化する庁内手続きについて、市民の申請状況に合わせた最適な、手続き方法や必要な持ち物等を公式ホームページやインターネット上で案内するシステムを導入します。「来庁が不要」な手続きはコンビニ交付やオンライン申請等へ案内することにより、市民の来所の手間や時間を削減していきます。

拡充

3 オンライン相談システムを拡大

予算額 83万2千円

「オンライン相談システム」に3業務を追加し、9業務に拡大します。スマートフォンやタブレット端末から「いつでも・どこでも」相談ができるサービスを拡充していきます。

新規

4 公共施設予約システムにオンライン決済を導入

県内最多施設数

予算額 1,542万2千円

年間約20万件の利用がある公共施設インターネット予約システムに、クレジットカードによるオンライン決済を導入することで、「いつでも・どこでも」予約から支払いまでの手続きを完了することを可能としています。

拡充

5 書かない窓口システムの手続きを拡大

予算額 2,800万円

「書かない窓口」の対象に30の手続きを追加し、75の手続きに拡大します。マイナンバーカード等の活用による申請書の記入省略や、必要手続きの一覧化により、窓口に来所した市民が「書かない」「待たない」「回らない」窓口を拡充していきます。